

Ryukoku

親和会だより

117号
2019.9



CONTENTS

2019年度親和会定期総会 報告/2019年度親和会本部役員紹介	03
2019年度親和会事業計画	04
2019年度親和会予算	06
2018年度親和会決算	07
2018年度親和会優秀者表彰制度受賞者一覧	08
親和会講演会 講演録	10
保護者のためのキャリア・就職支援Q&A情報集 紹介	12
Information	14
Schedule 2019年10月～2020年3月	15
保護者相談窓口のご案内	

表紙写真：女子柔道部「社会貢献活動及び合同強化練習会」

2019年2月22日(金)から26日(火)に熊本県球磨郡湯前町において、柔道を通じての社会貢献活動及び合同強化練習会を開催いたしました。この事業は13年前に九州地区の卒業生の依頼を受けて始まり、今年で14年連続14回目の開催となります。合宿中は大勢の地元小中学生や近隣の高校生、更には園児とも柔道教室など柔道を通じ触れ合いました。更に、今年は湯前町が主催となり、昨年秋の団体日本一を祝し祝勝会を盛大に開催していただきました。学生たちは、この事業を通じて得た貴重な経験により、豊かな人間性が涵養され、このことが競技成績にも繋がっています。ひいては、将来の龍谷大学へ必ず還元されるものと確信しています。

第58回親和会定期総会、親和会講演会を開催！

2019年5月11日(土)に、深草キャンパス3号館において、第58回親和会定期総会、親和会講演会、全国保護者懇談会(京都会場)を開催しました。

親和会定期総会は、年に1度、龍谷大学学生の全保護者へ案内を送付し、会計・会務の報告、予算の承認、理事及び監事の選出、その他必要な事項を審議いただき、親和会として最も重要な会議です。多くの保護者の皆様に参加いただきやすいよう、今年度も全国保護者懇談会(京都会場)と合わせて開催しました。

全国保護者懇談会(京都会場)では、はじめに、入澤崇学長にご挨拶いただきました。また、保護者の皆様に関心も高い龍谷大学の就職状況について、松永敬子キャリアセンター長よりご説明いただき、保護者の方も熱心に耳を傾けておられました。

引き続き、定期総会においては、2018年度事業報告及び決算報告、2019年度新役員の選出、2019年度事業計画及び事業予算についてご審議いただき、全ての議案について承認をいただきました。

特に、2019年度に龍谷大学が創立380周年を迎えるにあたり、親和会では、大学が行う創立380周年記念事業のうち、「キャリア形成補助金」をはじめとする各種事業に対して、奨学金積立金及び学生施設・課外活動支援積立金を取り崩し、大学に寄付することを決定いただきました。

親和会講演会では、安藤徹文学部長に「言葉の力、物語の力ー社会を読み解き、読み換えるためにー」をテーマにご講演をいただきました。(講演内容の詳細はP10を参照ください)

講演会終了後は、子どもの学修成績について教職員と直接面談を行う「学修懇談会」、進路・就職について面談を行う「就職懇談会」、「留学説明会」、「学生生活相談」、「教職説明会」など様々な相談会を開催し、会場は熱心に相談される保護者の皆様で賑わいました。

定期総会・全国保護者懇談会の終了後は、3号館地下食堂において保護者相互の懇親を深める懇親会を開催。龍谷大学が誇る吹奏楽部とバトン・チア SPIRITSによる毎年恒例の共演アトラクションも懇親会に華を添え、和やかに懇親を深めていただくことができました。



2019年度親和会本部役員紹介



会長
岡 玲



副会長
北條 暁



副会長
石野 元彦



副会長
奥野 嘉奈子



監事
大谷 弘子



監事
吉岡 真紀

2019年度 親和会事業計画

A. 保護者対象事業

1. 2019年度(第58回)親和会定期総会の開催

新年度(2019年度)の親和会事業を審議・決定するため会則第10条第1号に基づき定期総会を開催する。
日時:2019年5月11日(土) 場所:龍谷大学深草キャンパス

2. 全国保護者懇談会(大学との共催)の開催

■**親和会** 学生生活、修学状況、就職問題等について、直接教職員から説明・報告を受け、保護者が日頃抱えている疑問や問題等の解決をはかる。また各都道府県における保護者同士の親睦・交流を深め、情報交換の場としても利用していただき龍谷大学ファミリーとしての絆を強める。

■**大 学** 保護者に本学の教育理念(学修支援、就職支援)を説明・報告し、その理解を求める。また意見聴取・交換を通じた相互理解を目指し、保護者と大学が一体となって、さらなる教育・研究の充実・発展を期す。

上記目的の実現のため、龍谷大学および龍谷大学親和会の共催事業として保護者懇談会を開催する。

開催地:全国29会場にて開催(大阪会場含む) 時期:2019年5月中旬~7月下旬

内 容:①大学現況報告、②親和会事業説明、③個別相談またはグループ懇談(成績・就職・学生生活)、④懇親会

3. 三者(大学・親和会・校友会)共催事業の開催

大学、親和会、校友会(卒業生組織)の三者による共催事業に取り組む。

①大学懇談会(大阪)の開催

大阪における保護者懇談会は、「大学懇談会」と称して、校友会(卒業生組織)とも連携の上、就職支援事業を強化した形で実施する(講演会を開催する)。

日 程: 2019年7月20日(土) 場 所:ホテルニューオータニ大阪

②龍谷大学ホームカミング・デー2019の開催

龍谷祭(学園祭)の開催期間中に保護者・卒業生を対象とした見学企画イベントを開催する。

日 程・場 所:2019年10月26日(土) 瀬田キャンパス 2019年11月3日(日) 深草キャンパス

内 容:本願寺書院見学ツアー、龍谷祭模擬店利用券配付(予定)

③資格取得支援事業の開催

税理士や会計士等を目指す学生を対象に、龍谷大学校友会職域支部の職業会計人グループ(RAS)会員の協力のもと、説明会・相談会・講習会等を開催する。

日 程:2019年4月~12月にかけて適宜開催

4. 広報関連事業 「親和会だより」発行、保護者向けホームページ更新

広報関連事業として「親和会だより」を年2回発行・郵送する。また、保護者向けホームページを更新し、インターネット上での情報提供を行う。

5. 保護者への成績表送付事業支援

大学から保護者への成績表送付により、保護者・学生・大学との教育連携が強化され、学修状況の改善が図られるよう取り組む。郵送費等の支援を行い、大学と連携し推進する。

送付時期:第2学期成績 2019年3月下旬 第1学期成績 2019年9月下旬(年2回予定)

送付対象:各学部・短期大学部(大学院生、卒業生は除く) 保証人宛に発送

6. 龍谷総合学園学校保護者会連合会活動

龍谷総合学園学校保護者会連合会活動へ参画し活動を推進する。

B. 学生・大学支援事業

1. 親和会奨学事業の実施

①親和会海外研修奨学金制度(夏期・春期の年2回)

学生が自主的に計画した海外研修に対し奨学金を給付する。「自己研鑽コース(10万円以内)」と「研究コース(30万円以内)」の2コースで、夏期・春期の年2回の募集を行う。

②親和会学生活動奨励金制度

学内外の活動を問わず、他の範となるべき優秀な業績をおさめた学生の団体に対して奨励金を給付する。

③親和会学生救済型奨学金制度

修学の意思はあるが、保護者(家計支持者)の死亡・離職・失職等により学費工面が困難となった学生に対して、学費等支援を行う学生救済型の奨学金を給付する。

④親和会優秀者表彰制度

様々な分野で著しい成績・成果をおさめた個人・ゼミ・団体等に対し、学生が意欲的に自らの目標に向かって自己研鑽することを奨励する。

2. 自然災害等救済支援活動の実施

■親和会自然災害等特別見舞金制度

学生・保護者の自然災害等による被災者に対し、見舞金を給付する。

また、東日本大震災により被災した学生の帰省費用の援助を継続して実施する。

3. 親和会助成事業の実施

①教育・研究活動助成制度

学生個人、又は団体による自主的な学修・研究活動を支援することを目的とし、課題研究発表会の開催や論文集作成等に対して助成を行う。

②特別助成制度

全国大会出場、周年記念事業等の臨時的な課外活動及び大学事業に対して援助を行う。

4. 大学の学生支援事業への助成

龍谷大学が実施する学生支援事業に対し直接的な助成を行い、その事業の一層の充実及び拡大を目指せるよう協力する。

5. 入学記念品の贈呈

歓迎の意を込めて、新入生に記念品を贈呈する。

6. 卒業時の表彰制度

卒業生の大学への帰属意識醸成を目的として、在学中、優秀な活動・業績を収めた学生に対し、「親和会長賞」を贈呈し、卒業式においてその表彰を行う。

7. 防災備蓄品等整備にかかる助成

全学的な防火・防災に対応し、災害発生時の対応を強化するため、大学の行う防災備蓄品等整備にかかる費用への助成を行い、親和会として危機管理対策の充実に寄与する。

8. 「仏教の思想」科目テキストにかかる助成

全学必修科目である「仏教の思想」科目を履修する入学生(編転入生含む)に対し、本科目のテキスト(「釈尊と親鸞」)の購入にかかる費用を助成する。

9. 龍谷大学創立380周年記念事業への助成

- ①大学が実施する創立380周年記念事業のうち、「キャリア形成補助金」に対し助成を行う。(経年事業)
- ②大学が実施する創立380周年記念事業に対し助成を行う。(単年度事業)

10. 積立金事業

将来的な展望に立ち、継続的に学生生活を支援し、親和会事業を円滑に運営できるよう積立金事業を実施する。

- ①学生災害特定引当積立金
- ②記念事業積立金

11. 大学募金活動

(龍谷大学創立380周年記念事業募金)への協力教育・研究・学生活動支援や施設整備の環境整備等の目的で、大学が実施する募金活動(龍谷大学創立380周年記念事業募金)に賛同し、寄付の呼びかけを行う。

2019年度 龍谷大学親和会予算

自 2019年4月1日
至 2020年3月31日

■収入の部

(単位:円)

款	項	科 目	予 算 額 ①	前年度予算額②	前年比予算額差異 ③(①-②)
1		会 費	158,024,000	160,671,000	△ 2,647,000
1	1	会 費	143,318,000	145,950,000	△ 2,632,000
1	2	入 会 金	14,706,000	14,721,000	△ 15,000
2		寄 付 金	0	0	0
3		雑 収 入	20,000	20,000	0
4		資産運用収入	31,674	37,198	△ 5,524
5		積立金取崩	100,000,000	0	100,000,000
6		前年度繰越金	29,403,198	40,104,117	△ 10,700,919
		合 計	287,478,872	200,832,315	86,646,557

■支出の部

(単位:円)

款	項	科 目	予 算 額 ①	前年度予算額②	前年比予算額差異 ③(①-②)
1		事 業 費	147,350,000	147,520,000	△ 170,000
1	1	全国保護者懇談会実施費	43,000,000	43,000,000	0
2		共催事業助成費	4,000,000	4,000,000	0
3		広報事業費	5,000,000	5,000,000	0
4		保護者成績表送付助成費	4,000,000	4,000,000	0
5		奨学事業費	19,950,000	19,950,000	0
1	1	親和会海外研修奨学金	3,000,000	3,000,000	0
2		親和会学生活動奨励金	2,000,000	2,000,000	0
3		親和会学生救済型奨学金	10,000,000	10,000,000	0
4		親和会優秀者表彰費	4,950,000	4,950,000	0
6		自然災害等特別見舞金	2,000,000	2,000,000	0
7		親和会助成事業費	19,000,000	19,000,000	0
1	1	教育・研究助成費	8,000,000	8,000,000	0
2		特別助成費	11,000,000	11,000,000	0
8		学生支援事業助成費	36,850,000	37,350,000	△ 500,000
1	1	クラブ活動助成費	10,000,000	10,000,000	0
2		集団指導助成費	5,000,000	5,000,000	0
3		学生会行事助成費	1,400,000	1,400,000	0
4		学生災害補償費	900,000	900,000	0
5		スクールバス運行助成費	2,700,000	2,700,000	0
6		学生会館運営助成費	500,000	500,000	0
7		健康管理費	3,300,000	3,300,000	0
8		保健管理センター助成費	550,000	550,000	0
9		就職・キャリア開発助成費	10,000,000	10,000,000	0
10		宗教教育助成費	2,000,000	2,000,000	0
11		海外研修助成費	500,000	1,000,000	△ 500,000
9		新入生歓迎記念品費	5,200,000	5,200,000	0
10		卒業時表彰費	600,000	600,000	0
11		防災備蓄品等整備助成金	1,200,000	1,200,000	0
12		「仏教の思想」科目テキスト助成費	6,550,000	6,220,000	330,000
2		創立380周年記念事業特別助成費	100,000,000	0	100,000,000
3		運 営 費	21,900,000	22,400,000	△ 500,000
1		人件費	4,500,000	4,500,000	0
2		印刷製本費	1,000,000	1,000,000	0
3		郵便費	1,000,000	1,000,000	0
4		出張旅費	6,500,000	7,000,000	△ 500,000
5		会議費	6,000,000	6,000,000	0
6		記念品・謝礼費	2,000,000	2,000,000	0
7		備品費	200,000	200,000	0
8		雑費	200,000	200,000	0
9		慶弔経費	500,000	500,000	0
4		龍谷総合学園学校保護者会連合会費	1,250,000	1,250,000	0
5		引当積立金	6,400,000	20,000,000	△ 13,600,000
1		奨学金積立金	0	5,000,000	△ 5,000,000
2		学生施設・課外活動支援積立金	0	5,000,000	△ 5,000,000
3		学生災害特定引当積立金	1,400,000	5,000,000	△ 3,600,000
4		記念事業積立金	5,000,000	5,000,000	0
6		予 備 費	10,578,872	9,662,315	916,557
7		次年度繰越金(決算後に確定)	0	0	0
		合 計	287,478,872	200,832,315	86,646,557

2018年度 龍谷大学親和会決算

自 2018年4月1日
至 2019年3月31日

■収入の部

(単位:円)

款 項	科 目	予算額①	決算額②	差異③(①-②)
1	会 費	160,671,000	158,480,000	2,191,000
1	1 会 費	145,950,000	143,486,000	2,464,000
2	2 入 会 金	14,721,000	14,994,000	△ 273,000
2	寄 付 金	0	0	0
3	雑 収 入	20,000	30,000	△ 10,000
4	資産運用収入	37,198	31,674	5,524
5	前年度繰越金	40,104,117	40,104,117	0
	合 計	200,832,315	198,645,791	2,186,524

■支出の部

(単位:円)

款 項 目	科 目	予算額①	決算額②	差異③(①-②)
1	事 業 費	147,520,000	129,106,933	18,413,067
1	1 課外活動助成費	18,400,000	18,400,000	0
	1 1 クラブ活動助成費	10,000,000	10,000,000	0
	2 集団指導助成費	5,000,000	5,000,000	0
	3 学生会行事助成費	1,400,000	1,400,000	0
	4 親和会学生会活動奨励金	2,000,000	2,000,000	0
2	福利厚生助成費	4,750,000	4,750,000	0
	1 健康管理費	3,300,000	3,300,000	0
	2 保健管理センター助成費	550,000	550,000	0
	3 学生災害補償費	900,000	900,000	0
3	就職・キャリア開発助成費	10,000,000	10,000,000	0
4	学生生活助育助成費	16,200,000	12,337,255	3,862,745
	1 スクールバス運行助成費	2,700,000	2,700,000	0
	2 学生会館運営助成費	500,000	500,000	0
	3 宗教教育助成費	2,000,000	1,931,600	68,400
	4 特別助成費	11,000,000	7,205,655	3,794,345
5	国際交流助成費	4,000,000	900,000	3,100,000
	1 親和会海外研修奨学金	3,000,000	900,000	2,100,000
	2 海外研修助成費	1,000,000	0	1,000,000
6	全国保護者懇談会実施費	43,000,000	41,099,019	1,900,981
7	広報事業費	5,000,000	4,500,000	500,000
8	教育・研究助成費	8,000,000	4,656,672	3,343,328
9	共催事業助成費	4,000,000	4,000,000	0
10	新入生歓迎記念品費	5,200,000	4,592,000	608,000
11	卒業時表彰費	600,000	565,380	34,620
12	親和会学生会救済型奨学金	10,000,000	1,600,000	8,400,000
13	自然災害等特別見舞金	2,000,000	5,600,000	△ 3,600,000
14	保護者成績表送付助成費	4,000,000	3,832,507	167,493
15	防災備蓄品等整備助成金	1,200,000	1,200,000	0
16	「仏教の思想」科目テキスト助成費	6,220,000	6,218,100	1,900
17	親和会優秀者表彰費	4,950,000	4,856,000	94,000
2	運 営 費	22,400,000	18,925,340	3,474,660
	1 人件費	4,500,000	3,568,496	931,504
	2 印刷製本費	1,000,000	1,164,138	△ 164,138
	3 郵便費	1,000,000	776,790	223,210
	4 出張旅費	7,000,000	6,361,953	638,047
	5 会議費	6,000,000	4,765,078	1,234,922
	6 記念品・謝礼費	2,000,000	1,786,400	213,600
	7 備品費	200,000	53,037	146,963
	8 雑費	200,000	174,123	25,877
	9 慶弔経費	500,000	275,325	224,675
3	龍谷総合学園学校保護者会連合会費	1,250,000	1,210,320	39,680
4	引 当 積 立 金	20,000,000	20,000,000	0
	1 奨学金積立金	5,000,000	5,000,000	0
	2 学生施設・課外活動支援積立金	5,000,000	5,000,000	0
	3 学生災害特定引当積立金	5,000,000	5,000,000	0
	4 記念事業積立金	5,000,000	5,000,000	0
5	予 備 費	9,662,315	0	9,662,315
6	次年度繰越金	0	29,403,198	△ 29,403,198
	合 計	200,832,315	198,645,791	2,186,524

2018年度親和会優秀者表彰制度受賞者一覧

様々な分野で著しい成績・成果をおさめた個人・ゼミ・団体等に対し、学生が意欲的に自らの目標に向かって自己研鑽することを奨励する制度です。

(1) 大学院優秀賞

研究科	専攻	学年	氏名
文学研究科	真宗学専攻	M2	日高 大智
文学研究科	真宗学専攻	M2	高橋 唯焯
文学研究科	臨床心理学専攻	M2	鳥田 茜
文学研究科	日本史学専攻	M2	日下 智良
文学研究科	日本語日本文学専攻	M2	岩間 智昭
法学研究科	法律学専攻	M2	大芝 理穂
経済学研究科	経済学専攻	M2	李 冰清
経営学研究科	経営学専攻	M2	劉 曉晨
社会学研究科	社会福祉学専攻	M2	楊 夢佳
理工学研究科	数理情報学専攻	M2	町釋 光
理工学研究科	電子情報学専攻	M2	川辺 健太郎
理工学研究科	機械システム工学専攻	M2	山田 浩史
理工学研究科	機械システム工学専攻	M2	村松 悠哉
理工学研究科	物質化学専攻	M2	春日 誠
理工学研究科	情報メディア学専攻	M2	新城 大輔
理工学研究科	環境ソリューション工学専攻	M2	伊藤 早紀
理工学研究科	環境ソリューション工学専攻	M2	芝田 直樹
国際文化学研究科	国際文化学専攻	M2	桐敷 葵
実践真宗学研究科	実践真宗学専攻	M3	熊鰐 信行
実践真宗学研究科	実践真宗学専攻	M3	奥田 章吾
政策学研究科	政策学専攻	M2	永田 紗瑛
農学研究科	食農科学専攻	D1	鈴木 太朗

(2) 学部優秀賞

学部	学科	学年	氏名
文学部	真宗学科	4	奥原 龍
文学部	仏教学科	4	毛利 真生
文学部	哲学科	4	馬場 朝子
文学部	哲学科	4	長澤 敦士
文学部	臨床心理学科	4	山口 莉菜
文学部	歴史学科	4	西尾 大樹
文学部	歴史学科	4	尾花 瞭太
文学部	歴史学科	4	世古口 佳恵
文学部	日本語日本文学科	4	吉田 奈央
文学部	英語英米文学科	4	黒光 美沙
経済学部	現代経済学科	4	加納 晴香
経済学部	国際経済学科	4	吉田 美穂
経営学部	経営学科	4	近藤 愛花
法学部	法律学科	4	日野 萌絵子
理工学部	数理情報学科	4	吉川 未紗
理工学部	電子情報学科	4	大音 諒弥
理工学部	機械システム工学科	4	山内 辰太郎
理工学部	物質化学科	4	庵 友美
理工学部	情報メディア学科	4	富江 広大
理工学部	環境ソリューション工学科	4	釣 健司
社会学部	社会学科	4	塩田 智輝
社会学部	コミュニティマネジメント学科	4	中江 佳奈
社会学部	地域福祉学科	4	村上 真菜
社会学部	臨床福祉学科	4	梶谷 優希
政策学部	政策学科	4	白井 遥
国際学部	国際文化学科	4	濱 瑞季
国際学部	グローバルスタディーズ学科	4	荻本 衣里
農学部	植物生命科学科	4	永本 智士
農学部	資源生物科学科	4	片岡 悠華
農学部	食品栄養学科	4	田中 有希乃
農学部	食料農業システム学科	4	原田 梓
短期大学部	社会福祉学科	2	槻木 利佳
短期大学部	こども教育学科	2	安久 紗綾

(3) 学部教育賞

学部	学科	学年	氏名・団体名
文学部	真宗学科	2	石井 比奈子
文学部	仏教学科	2	池田 希実子
文学部	哲学科	2	松村 健太
文学部	哲学科	2	武田 梨里花
文学部	臨床心理学科	2	和田 真由美
文学部	歴史学科	2	小松 丘実
文学部	歴史学科	2	大橋 綾乃
文学部	歴史学科	2	杜 乃娟
文学部	歴史学科	2	高橋 直子
文学部	日本語日文学科	2	星野 彩乃
文学部	英語英米文学科	2	田中 沙英
文学部		3	野呂靖・大谷由香ゼミ(20名) 福井安澄・秋田沙樹・今村結衣・辻谷莉和・西井賢俊・吉田知央・田中さくら・丸山千尋・高原晃・大谷ももこ・谷小波・加藤舞・川岸茉莉・高橋君子・中川満稀・中村佳蓮・相原由季・生田ももこ・津嘉山もも・平部萌乃
経済学部	現代経済学科	3	久保田 翔
経済学部	現代経済学科	3	西別府 大和
経済学部	国際経済学科	2	竹内 沙織
経済学部	現代経済学科	2	日野 耀遥
経済学部		1	福島 怜真
経営学部	経営学科	4	高橋 沙槻
経営学部	経営学科	3	喜屋武 舞
経営学部	経営学科	2	谷崎 智子
経営学部	経営学科	1	田淵 七星
法学部	法律学科	2	福島至ゼミ(31名) <2年>尾花由理・高松佑弥・林純平・堀場隆志・門田莉奈・谷重友紀乃・山田吉希・井原遼・加藤裕基・岸田賢和・中尾菜都美・濱田紫乃・馬場早希・三浦いのり・米本純奈
法学部	法律学科	3	<3年>安藤優来・井筒仁望・射場愛弥・大津里奈・津曲貴也・藤原直翔・プランティス ゲンジ コリン ゴ・伊藤貴子・細美花鈴・外池紘野・高橋来奈・田中万裕・辻絵梨花・平嶋凌・藤松寛・山岡元起
法学部	法律学科	3	今川嘉文ゼミ(16名) 稲本涼子・大東克海・橋本勇一・枝澤遼介・篠田隼哉・今川大輔・遠藤勝・小林英太郎・高野日向・谷山あかね・中畔輝・野村悠貴・松波伶奈・大場弘介・角井諒介・佐々木理沙
理工学部	数情報学科	3	酒井 勇斗
理工学部	電子情報学科	3	川原 妃花
理工学部	機械システム工学科	1	壺井 祐太郎
理工学部	物質化学科	4	藤田 健矢
理工学部	情報メディア学科	3	萩野 紗希
理工学部	環境ソリューション工学科	3	若永 優希
社会学部	社会学科	2	新谷 菜月
社会学部	コミュニティマネジメント学科	2	松井 空帆
社会学部	コミュニティマネジメント学科	2	井上 沙雪
社会学部	現代福祉学科	2	松田 野々夏
社会学部	現代福祉学科	2	相場 咲希
政策学部	政策学科	3	阿部大輔ゼミ(12名) 内海ありさ・大谷歩美・木戸琴音・信貴陸斗・嶋根早紀・中谷有里・西野利央・葉狩佳奈・藤川奏絵・藤本 村・山岡紗・森本臣
政策学部	政策学科	2	石原凌河ゼミ(26名) <2年>井上直樹・川下諒・小村奈々・杉山和則・高木也美・竹富湧生・立石映・堂園夢叶・山口響生・米川高史
政策学部	政策学科	3	<3年>池田慧太・井上翔太・上村愛・江藤愛菜・岡村周哉・岡本拓朗・上木原大基・北村泉帆・北村広大・栗尾大成・國分ひかり・茂木佑馬・玉置翔太郎・富上弥生・三橋巧・山田京花
国際学部	国際文化学科	1	井上 陽奈子
国際学部	国際文化学科	2	山下 知樹
国際学部	国際文化学科	3	片山 千里
国際学部	グローバルスタディーズ学科	3	先田 葵希
農学部	植物生命科学科	3	長瀬 朱理
農学部	資源生物科学科	3	竹林 聡史
農学部	食品栄養学科	3	本山 結恵
農学部	食料農業システム学科	3	食料農業システム調査実習チーム(20名) 加茂倫也・浅井大典・安達有咲・大久保和紀・太田黒沙姫・川合紗雪・窪夢来真・神山凛・坂井翔斗・佐近典貴・笹田夏佳・佐藤愛子・澤田盟菜・菅野智暉・田口明・武本桃・田中奈月・玉置奈々・松村紗花・吉岡優衣
短期大学部	社会福祉学科	1	池田 夏海
短期大学部	こども教育学科	1	吉永 美優
学部共通/国際関係コース	経済学部国際経済学科	3	梅本 真里
学部共通/国際関係コース	経営学部経営学科	3	佐藤 菜摘
学部共通/国際関係コース	経営学部経営学科	3	山本 祥士
学部共通/英語コミュニケーションコース	経営学部経営学科	3	大畠 綾華
学部共通/環境サイエンスコース		3	北川秀樹ゼミ(8名) <経済3年>安達隆大・金森弘樹・郷右近翔翼・津田菜雪・濱元貴大・森井高広<経営3年>加納禎之<政策3年>大岸美香
学部共通コース/スポーツサイエンスコース	政策学部政策学科	3	西野 睦

言葉の力、物語の力

— 社会を読み解き、読み換えるために —

安藤 徹氏
龍谷大学文学部長



あんど とおる
安藤 徹

1968年岐阜県生まれ。名古屋大学大学院文学研究科博士後期課程修了。博士(文学)

2000年龍谷大学文学部日本語日本文学科に着任。図書館長を経て、2017年4月より現職。専門は日本古典文学、特に「源氏物語」を中心とする平安朝文学。主な著書に『源氏物語と物語社会』(森話社)、『源氏文化の時空』(共編著、森話社)、『かぐや姫と絵巻の世界』(共編著、武蔵野書院)、『日本文学からの批評理論』(共編著、笠間書院)など。学生を「こぼのブロ」に育てることが目標。

人間が人間になるのは、言葉によってです。言葉なしに人間社会は成り立ちません。しかし、日常的には、空気や水のように、言葉もその重み、大切さに気付くことはなかなかありません。言葉は大切なものである、大きな力が潜んでいるということに気付くきっかけを、皆さんとともに持てればと思います。

ちょうどこの5月のはじめに改元がなされ、平成から令和に変わりました。言葉が変わっただけで、時代が変わった、新しい時代が始まったというような感覚を持たれたかも知れません。客観的には何も変わっていないはずなのに、何か変わったように思わせる力が、元号という言葉にあるのではないかと思います。

1100年ほど前に編さんされた『古今和歌集』という歌集の仮名序、冒頭部分には、「やまとうたは、人の心を種として、よろづの言の葉とぞなれりける」とあります。まず心があって、それを表現するのが言葉である。心なくして、言葉は存在しない。そういう理解になります。しかし、それだけのとらえ方でいいのでしょうか。

「古寺に斧こだます寒さかな」という俳句があります。実は、この俳句は30年以上前にコンピュータが作ったものです。さて、この句の心はどこにあるのでしょうか。心とは意味ということでもありますが、私たちは、表現の向こう側に、その言葉に込めた意味はこうではないかと想像・創造し、解釈する力を持っています。言葉があるからこそ、心を理解することができると言えるのではないのでしょうか。

次に物語です。『万葉集』の中に「青角髪(あをみづら) 依網(よさみ)の原に人も相(あ)はぬかも 石走(いはばし)の淡海島(あふみがた)の物語為(せむ)む」という和歌があります。「依網の原で人と会うかも知れない。もし会ったなら、淡海島の物語をしよう」といった意味です。

淡海島というのは滋賀のことです。この歌から窺い知れるのは、物語は他者がいてこそ成り立つということと、そして何かを伝えたいという思いがあってこそ成り立つのだということです。授業中、学生が私語をしていると、「話をするな」と叱りますが、「物語をするな」とは言いません。それは、「話」という言語行為と、「物語」という言語行為との差を、私たちは意識せずに理解し、使い分けているからです。

「浦島太郎」で考えます。A浦島太郎は漁師だった。B浦島太郎は竜宮城に行った。C浦島太郎は竜宮城に行き、3年後に自分の村へ帰った。D浦島太郎は竜宮城に行き、3年経った頃、両親のことが心配になったので、自分の村へ帰った。この4つの文のなかで、Dが一番物語的なものを感じるのではないかと思います。複数の出来事の推移を記述し、「両親のことが心配になったので」という説明で出来事を関連付けているからです。出来事の関係性が読み取れるように語られると、私たちは物語的だと感じるすることができます。

『竹取物語』を例にとりましょう。かぐや姫が地上にやってきて、いろいろあって、最後は月に帰って行きました。簡単に言うともこれだけの話です。つまり、抽象化、一般化すると、異界と現世を往復した物語ということになるわけです。「浦島太郎」と比較すると、この2つの物語は裏返しの関係にあると言えます。物語はシンプルに枠組みだけ考えると、比較することができるし、共通点も見つけることができます。物語には始めと終わりがあり、区切られたストーリーがあります。同時に複数の出来事の関係性を語りますから、出来事と出来事のつながり、関係を見出す力を、物語から養うこともできます。更に、物語のメッセージは何かということを読み取る力を養うこと

ができます。私たちは、分けて、つなげて、まとめる力を、物語を通じて養っているのではないのでしょうか。更に推測したり、比較したり、想像したり、空白を埋めて未来を予想したりもできます。仮に予想が外れたとしても、そのように外れたことの原因や意味を考える機会を得られます。物語はこうした効用を持っています。

言葉にはさまざまな力があります。言葉によって達成できることはたくさんあります。その一方で、言葉の暴力もあります。言葉一つで、場合によっては人の命を奪ってしまうことがあるかもしれません。そんな恐ろしい力を言葉は持っています。批評家の亀井勝一郎さんが「率直ということと粗野は同一ではない、混同してはならない」と言っています。自分の言葉がほかの人にどのように伝わるのか、それによって傷つく人がいるかどうかまったく考えずに、とにかく率直に「主張すること」が正しい行いだと思っている人がなんと多いことでしょう。亀井さんは「言葉の形骸化」についても言っています。言葉は何となく使っていると、言葉の持っている大事な力が見失われて、形だけになってしまうのです。例えば、学生に対して「図書館を積極的に使しましょう」といつも言っています。龍谷大学の図書館は、3キャンパスを合わせて220万冊以上もの本があります。ところで、「図書館を使う」と言いますけれども、「図書館を使用する」「図書館を利用する」「図書館を活用する」ではニュアンスが違わないでしょうか。明確な使い分けがあるとは言い難いのですが、「使用する」とは本来の目的とは違う形で使う場合に用います。「利用する」は本来の目的として使う場合です。「活用する」となると、本来の目的以上にもっと積極的に使いこなす場合と言えるでしょう。言葉を使い分ける力も大切です。

物語には話型がありますが、型そのものを絶対化してしまうと、自分たちの説明できるストーリーに乗らないものを排除してしまう危険が生まれます。また、自分の理解できるストーリーでものごとを見てしまい、分かったような気になるという結果を招くこともあります。真実は細部に宿ると言われます。その細部を見落とすことで失敗をする危険もあります。『竹取物語』で言いますと、「かぐや姫がこちらにやってきて、いろいろあったけれど帰っていった」「いろいろあった」というところが、ストーリーとしておもしろいところでして、5人の求婚者が出てきます。実はほとんど同じ話が『今昔物語集』にもあります。ただし、求婚者は3人です。しかも、求婚者に与えられた難題も違います。5人でも3人でもストーリーは成り立ちます。「いろいろあった」というところが膨らむだけです。しかし、その自由度のある部分こそが、個々の物語

の生命線なのです。大枠だけで捉えていたのでは、その大事なところを見逃してしまいかねないのです。

こうした言葉や物語という観点から、社会を読み解き、読み換えていく上で、手がかりとなる方法はいくつかあります。例えば、言葉そのものを換えてみてはどうか。「自力」と「他力」という言葉があります。五木寛之さんが「自力」と「他力」をヨットと風にたとえています。言葉を換えて、たとえて説明することによって、物事がはっきりと伝わってくる場合があります。これが、言葉の力のひとつです。近年、大学の教育のパラダイム転換ということが言われています。「教えるから学ぶへ」、「教員中心ではなく、学生中心に」あるいは「知識伝達から知識創造へ」、「受動的な学びから主体的、能動的な学びへ」。これらが今の高等教育のキーワードとなっています。新たな言葉を使うことによって、大学教育も大きく変わろうとしているわけです。これらは社会を読み換える一例になるかもしれません。

視点を換えるということもあります。『源氏物語』の夕顔の巻を例にします。光源氏と夕顔の出会いがあって、その後、夕顔が物の怪に取り憑かれて死んでしまうというお話です。作家の田辺聖子さんは、『私本・源氏物語』で大胆に『源氏物語』を語り直しています。もとの物語にはいない伴男という雑用係の男を登場させて、彼の視点から、物語を語っています。また、焦点を換えることもあります。光源氏ではなく、彼の家来の惟光という人に焦点を合わせてみるとどうなるか。夕顔という人は比較的身分が低いので、惟光の方が夕顔の相手としてはむしろふさわしいのですけれども、それを光源氏に譲ったというふう読み換えてもいいのではないかと。清水義範さんの『読み違え源氏物語』では、夕顔の死を殺人事件という切り口から読み解いています。誰が何のために殺したのか。本当に殺されたのか。切り口を換えて補助線を引いてみることで、物語の新たな一面を浮かび上がらせることに成功した作品です。

最後に「言葉を異化する」ということについて触れたい。ありふれた言葉を見慣れないものにするによって、あえて意識して捉えることから、いろいろと学ぶことも多いだろうと思います。

言葉や物語の特徴を知って、意識しながら社会を読み解き、読み換えることで、よりよい社会を作り上げることができるのではないかと。そのことを考える機会として、お話をさせていただきました。言葉を大切に、言葉を交わしあえればと思います。本日はありがとうございました。

大学ホームページ特設サイト始動！ 保護者のためのキャリア・就職支援Q&A情報集

キャリアセンター／インターンシップ支援オフィスでは、社会で必要となる基礎的・汎用的能力を育成するとともに、職業観や勤労観を醸成し、生涯を通じた持続的な就業力が身につくよう、入学直後の早い段階から「キャリア教育」に取り組んでいます。また、学生が自立し、主体的な進路選択・就職決定ができるよう、多彩な支援プログラムを実施し、学生の個々の状況を踏まえたきめ細かな「進路・就職支援」を行っています。

このたび、親和会からの創立380周年記念事業寄付金による補助を受け、これまでの全国保護者懇談会で保護者の方からお寄せいただいた様々な疑問や質問をまとめた「保護者のためのキャリア・就職支援Q&A情報集」を作成し、大学HP特設サイトに掲載いたしました。

このQ&A情報集が保護者の皆さまの疑問を解決する一助となれば幸いです。ぜひ、一度アクセスしてみてください。

「保護者のためのキャリア・就職支援Q&A情報集」へのアクセス方法(パソコン版)

The image shows a two-step process for navigating to the 'Career and Job Support Q&A Information Collection' for guardians on the Ryugasaki University website. The first screenshot shows the main homepage with a red box highlighting the '保護者の方' (For Guardians) link in the top navigation bar. A red arrow points from this link to the second screenshot, which shows the 'About' page with a red box highlighting the '保護者のためのキャリア・就職支援Q&A情報集' link in the footer. A second red arrow points from this link to a red callout box containing the text: 「保護者のためのキャリア・就職支援Q&A情報集」.

「保護者の方」

龍谷大学ホームページ
トップページ
↓
「保護者の方」
↓
「保護者のためのキャリア・就職支援Q&A情報集」

「保護者のためのキャリア・就職支援Q&A情報集」

「保護者のためのキャリア・就職支援Q&A情報集」へのアクセス方法(スマホ版)



龍谷大学ホームページトップページ → 「保護者の方」 → 「保護者のためのキャリア・就職支援Q&A情報集」



Information

複数在籍者の親和会費一部返金手続きについて(1回生保護者対象)

親和会費は、「1会員(保護者)1会費」としていただきます。本学にお子さまが2名以上在籍している場合は、最上級生1名分を除き、親和会費をいただいております。

但し、新入生については、入学手続きの関係により会費を一律にいただいておりますので、同封の会費返金申請書にて返金申請をお願いします。お手数ですが、親和会事務局までFAXまたは郵送にてご送付ください。

龍谷大学創立380周年顕彰式報告

創立記念日である2019年5月21日に、大学の創立380周年に対して多大な功績を寄せたということから、親和会が大学より顕彰を受けました。

これは、龍谷大学の創立380周年に際し、「キャリア形成補助金」など、創立380周年で実施される各種事業に対し助成を決定したことによるものです。

親和会では、今後とも大学、学生の諸活動に対し、強力でサポートしてまいります。

※「キャリア形成補助金」とは、学生が、就職活動を始めるまでの間に、主体的に自身の将来の進路を考える姿勢や幅広い就業観を修得しておくため、インターンシップへの参加費用(交通費や宿泊費等)を支援するものです。

龍谷大学創立380周年記念事業 ご寄付のお願い

龍谷大学は、1639(寛永16)年に設立された西本願寺の学寮を起源とし、爾來370余年にわたり、建学の精神(浄土真宗の精神)に基づき人間性豊かで深い学識と教養をそなえる人材の養成に取り組んでまいりました。

第5次長期計画の最終年度となる2019(令和元)年度に創立380周年という大きな節目を迎え、本学がこれまで培ってきた歴史や伝統を積み重ねつつ、社会からの負託に応え、社会をリードする大学となることをめざすとともに、さらなる大学発展と飛躍を図るべく、創立380周年記念事業を執り行います。

2019年度第1学期(前期)成績表を保証人宛に送付します

年2回(3月・9月)、保証人宛に成績表を送付しております。9月下旬に、第1学期(前期)の成績を反映しました成績表を送付いたします。学修状況の確認、親子間のコミュニケーション等にお役立ただければと思います。

なお、成績表や各種ご案内などを送付させていただくため、送付先住所に変更がございましたら、必ず学生ご本人が各学部教務課で「保証人の住所変更手続き」を行っていただくようお願いください。

卒業生による無料相談会開催のお知らせ

本学の卒業生で、弁護士、税理士、司法書士、行政書士などの有資格者による無料相談会について、2019年度より、保護者にも対象を広げていただくこととなりました。深草キャンパスでのホームカミングデーに合わせて開催されます。予約は不要ですので、ご興味のある方はお気軽にお越しいただき、相談してください。

【開催日】2019年11月3日(日) 13時～16時
深草キャンパス和顔館(予定)

※開催時間・場所は予告なく変更する場合があります。

<本件に関する問合せ>

龍谷大学校友会事務局(075-645-2015)まで。

保護者の皆様におかれましては、本事業の趣旨をご理解賜り、既に多額のご寄付をお寄せいただいておりますこと、誠にありがたく感謝の念にたえません。

しかしながら、まだ目標にはほど遠いのが現状であります。既に「ご寄付のお願い」にかかる冊子をお送りしているところではございますが、何卒、本事業の完遂に向け、任意ではございますが、倍旧のご支援ご協力を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

○龍谷大学への支援(寄付)について

<https://www.ryukoku.ac.jp/contribution/>

Schedule 2019年10月～2020年3月

月	内 容	日にち	対 象
10月	授業実施日	14(体育の日)	全学共通
	報恩講	18	全学共通(終日休講)
	履修辞退受付期間	14～18	学部・大学院
		24・25	短
	授業実施日	22(即位礼正殿の儀)	全学共通
11月	龍谷祭(瀬田)	26・27	全学共通(26日:全学終日休講)
	龍谷祭(深草)	2～4	全学共通(2日:全学終日休講)
12月	授業実施日	23(勤労感謝の日)	全学共通
	集中講義	17～20	短
	補講期間	24～27	短
	冬期休業	25～1/5	学部・大学院
		17～1/5	短
一斉休暇	29～1/5	全学共通	
1月	授業再開	6	全学共通
	第2学期授業終了	20	学部・大学院
	後期授業終了	20	短
	集中補講日	21・22	学部・大学院
	補講日	21	短
	第2学期定期試験期間	23～25、27～29	学部・大学院
	後期定期試験期間	22～28	短
	春期休業	29～3/31	短
2月	第2学期定期試験期間(予備日)	2	学部・大学院
	春期休業	3～3/31	学部・大学院
	集中・補講期間	1～4	短
	追試験期間	14・15、17	全学共通
3月	卒業式	12	深草キャンパス/文・済・営・法・政・国・短
		13	瀬田キャンパス/理・社・農 (大学院含む)
		14	深草キャンパス/大学院(文・法・済・営・政・国)
	学年終	31	全学共通

※略称 「文」=文学部 「済」=経済学部 「営」=経営学部 「法」=法学部 「政」=政策学部
「理」=理工学部 「社」=社会学部 「国」=国際文化学部、国際学部 「農」=農学部 「短」=短期大学部
「学部」=全学部(短・大学院除く)対象 「大学院」=全研究科対象 「全学共通」=学部・大学院・短の全対象

■Schedule [保護者用]

開催日	内 容
2019年9月30日(月)	親和会第1回役員会
2019年10月26日(土)	ホームカミング・デー2019(瀬田キャンパス)
2019年11月3日(日・祝)	ホームカミング・デー2019(深草キャンパス)
2020年1月下旬	親和会第2回役員会



保護者相談窓口のご案内

親和会では保護者(保証人)の皆さまの疑問に答えるべく、専用電話とメールアドレスを設けております。親和会事業についてももちろんのこと、大学に対する各種お問い合わせ、相談、ご要望など、お気軽にお寄せください。

保護者
相談窓口

親和会事務局直通電話: **075-645-2780** (9時～16時45分[土・日・祝日、大学一斉休暇日 休業])
メールアドレス: sinwakai@ad.ryukoku.ac.jp
ホームページ: <https://www.ryukoku.ac.jp/link/parents.html>

龍谷大学親和会 龍谷ミュージアム

無料ご優待証

龍谷ミュージアム 無料ご優待

期日:2020年3月22日(日)まで

※1回のご来館につき、親和会員(保護者)を含め2名まで無料でご入館いただけます。

※期間中何度でもご利用いただけます。

※本誌をミュージアム受付でご提示ください。

親和会・親和会だよりに関するご意見、ご要望などは下記までお寄せください。



龍谷大学

RYUKOKU UNIVERSITY

龍谷大学 親和会事務局

編集:龍谷大学 親和会だより編集委員会

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67

Tel:075-645-7888 Fax:075-642-8867

Mail:sinwakai@ad.ryukoku.ac.jp

<https://www.ryukoku.ac.jp/link/parents.html>